実施 日 平成 27 年 8 月 11 日 (18:00~19:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

サンバー 豊田・長谷川・中田・金子・黒田・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

		71 H H H H H H H H H H H H H H H H H H H					
`		個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	X	

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

## ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の情報やニーズについて、利用開始前 にミーティング等を通じて共有しています か?		3	5	1	9
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、 まず必要としている支援ができています か?	1	3	5		9
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	2	1	9
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安を 受け止め、関係づくりのための配慮をして いますか?	2	2	5		9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用当初は送迎や通いの場で出来るだけ話をするようにしている。訪問を中心に関係を取っていることもある。
- ・利用開始前の情報で不明な点は確認している。
- ・本人の希望、家族の希望を確認し、不安な事、出来ないと思っている理由を確認している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用開始前に情報シートはあり、ミニミーティングで説明するが、ケース検討会議としては出来てない為、情報を共有することがむずかしい。
- ・介護支援専門員として得てくる情報と、介護現場が得てほしい情報が違うことがある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・介護支援専門員の面接に立ち会う。可能であれば、介護職員が別に面接に行く機会を設ける。

実施 日 平成 27 年 8 月 11 日 (18:00~19:30)

2. 「~したい」の実現(自己実現の尊重)

サンバー 豊田・長谷川・中田・金子・黒田・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	<i></i>	A

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

### ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	4	4	9
2	本人の当面の目標「~したい」がわかっていますか?		2	4	3	9
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した 日々のかかわりができていますか?		2	2	5	9
4	実践した(かかわった)内容をミーティング で発言し、振り返り、次の対応に活かせてい ますか?		3	2	4	9

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員同士が利用者様の変化や希望を伝え合っている。
- ・今、どうしたいのか、現状の「したい」ことに対してできている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者自身の「~したい」を把握していない。
- ・利用者様の思いを聞き出せても、実践できていない。
- ・意見が出ても次に活かせていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・初期の支援同様、問い合わせの段階から、援助の開始、開始してしばらくしてからのチェックする過程を整備する。

実施

平成27年8月11日 (18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー

豊田・長谷川・中田・金子・黒田・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	*	A

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

### ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	
1)	本人の自宅での生活環境を理解するために 「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できて いますか?			2	7	9	
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ 等の基礎的な介護ができていますか?	1	7	1		9	
3	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	5	1	9	
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		6	3		9	
5	共有された本人の気持ちや体調の変化に即 時的に支援できていますか?		4	4	1	9	

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様の状態に合わせて、介護方法を検討し取り組めいている。
- ・理由を明確にして説明し、情報を共有できている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・これまでの生活史を把握できていない。
- ・ミーティングですべての方の話し合いが出来ていない。
- ・変化に気づいても支援にまでつながらない。
- ・詳しく本人と関わる時間が持てない。

次回までの具体的な改善計画

- ・生活史を知る情報収集力が足りないので、情報収集の方法、コミュニケーション技法について学ぶ機会を設ける。
- ・変化の場面を話し合えるように、毎日のミーティングをミニカンファレンスのような形式に変えていく。

実施 日

平成27年8月11日 (18:00~19:30)

メンハ゛ー

豊田・長谷川・中田・金子・黒田・豊島

4. 地域での暮らしの支援

◆前回の改善計画に対する取組み状況

* 14 4								
	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)		
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人		Д		

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

### ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか?		1	4	4	9
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れ ないように支援していますか?		3	2	4	9
3	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か?		1	7	1	9
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか?			2	7	9

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自宅での様子をご家族様やご本人から聞きだせている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・生活スタイル、ご利用者の取り巻く人間関係など情報を収集できていない。
- ・自宅での過ごし方や夜間の様子を把握できてない。
- ・センターで過ごしているとき以外の情報は把握できていない。
- ・それぞれの民生委員や地域の資源を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・普段のご本人やご家族との会話の中で、友人、知人、近所の方などの情報を収集する、『関係性発見ノート』(仮称)を用意し、新たな発見したことを記入するようにする。

実施 日 平成 27 年 8 月 11 日 (18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

サンバー 豊田・長谷川・中田・金子・黒田・豊島

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	<i></i>	Λ

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

## ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?		4	2	3	9
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥 当適切に提供されていますか?		4	5		9
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?		6	3		9
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		6	3		9

#### できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者様の状態(体調の変化など)に合わせた過ごし方を行っている。
- ・日々、職員間でコミュニケーションが取れている為、変化があればその場で対応を取り、ケアマネを通じて情報を伝えている。
- ・配食サービスやひまわり収集など必要な方に他の資源の活用を行っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域の資源の把握が出来てない。

定員や職員の体制に十分対応できない時がある。

変化に気がついても対応できないこともある。

関わる時間に制約があり、ご利用者様が暇を持て余していることがある。

帰宅したいという願望に対応できていないことがある。

### 次回までの具体的な改善計画

- ・地域の公的サービス以外の資源の確認を行う。
- ・ミーティングを伝達事項で終わらさず、その日の気づいたことを即時対応できることを話し合えるようにする。また、ミニカンファレンス形式にし、気づく意識や、情報収集の大切さを学んでいく。

6. 連携·協働

実施 日 平成 27 年 9 月 22 日 (18:10~19:40)

ポンバー 豊田・長谷川・中田・千田・三好・嶋崎

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	*	

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

## ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	1	1	6	9
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に 参加していますか?	1		1	7	9
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦 人会、消防団等)の活動やイベントに参加し ていますか?		1	2	6	9
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民 が事業所を訪れますか?		3	2	4	9

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・業者や訪問看護、医師と定期的に情報交換を行えている。
- ・管理者は地域包括支援センター主催の会議や研修に参加している。
- ・小学校や保育園の行事に参加している。
- ・保育園児や大学生が定期的にこられている。
- ・地域の方々に認知症の啓発を行う為の学習会を開催している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者が直接、地域の行事に参加することが少ない。
- ・地域の会議や地域包括支援センター主催の催しものに管理者のみが出席している。
- ・担当者会議に現場スタッフが参加する機会が無い(事業者内では意見の収集あり)。
- ・地域との連携や協働がどのようなものかわからない。

#### 次回までの具体的な改善計画

- ・管理者が地域会議など出席していることをわかるようにする。
- ・事業所便りを作成することを検討する(個人情報保護規定でどのくらいまで作成できるか検討する。
- ・地域との協働というテーマで学習する機会を設ける。

実施 日

平成 27 年 9 月 22 日 (18:10~19:40

7. 運営

メンハ・ー

豊田・長谷川・中田・千田・三好・嶋崎

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	X	<u></u>

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

## ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	事業所のあり方について、職員として意見 を言うことができていますか?		5	2	2	9
2	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	4		7 (2)
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	3	3	8 (1)
4	地域に必要とされる拠点であるために、積 極的に地域と協働した取組みを行っていま すか?		1	6	1	8 (1)

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・意見を言える場がある。
- ・ミーティングの場でご家族のご意見、苦情などを共有し、解決策を検討している。
- ・家族懇談会を開催し、意見を聞く機会がある。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域から意見を聞く機会がない。
- ・事業所の現状やサービス内容(運営基準など)の理解不足もある。

### 次回までの具体的な改善計画

- ・運営推進会議の議事録を職員に回覧する。また、都合がつく範囲で介護職員も参加する機会を設ける。
- ・運営推進会議の中で地域の困りごとや、具体策などを話す機会を設ける。
- ・事業内容の運営について職員に説明する。

8. 質を向上するための取組み

ポンハ<sup>・</sup>- 豊田・長谷川・中田・千田・三好・嶋崎

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

①       前回の課題について取り組めましたか?         人       人		個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	0	前回の課題とついて取り組めましたか?	人	人	人	<i></i>	

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

## ◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		9			9
2	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか		5	2	2	9
3	地域連絡会に参加していますか	1	1		7	9
4	リスクマネジメントに取組んでいますか		1	5	3	9

### できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・外部、内部研修、希望する研修に行けている。資格取得に向けた研修も取り組んでいる。
- ・今年度、内部研修の充実を図った。
- ・地域の連絡会には案内が来たものは概ね参加できている。
- ・リスクマネジメントで即座に対応できていることもある。
- ・身体拘束を行わないことに対する、リスクマネジメントの説明を家族に行っている。また、代替えを提案している。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・リスクマネジメントで検証・分析まで行えていない。
- ・地域連絡会の案内を掲示していない。管理者が内容に応じて出席するよう指示をしている為、職員への偏りがある。

### 次回までの具体的な改善計画

- ・リスクマネジメントの研修を行う。発生したその場で複数の職員が即座に検討できるようにする。
- ・地域連絡会の開催を掲示する。

9. 人権・プライバシー

実施 日 平成 27 年 9 月 22 日 (18:10~19:40)

メンハー 豊田・長谷川・中田・千田・三好・嶋崎

### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	<i>**</i>	

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

### ◆今回の自己評価の状況

, ,	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	身体拘束をしていない	6	3			9
2	虐待は行われていない	7	2			9
3	プライバシーが守られている	1	6	2		9
4	必要な方に成年後見制度を活用している			2	4	9 (3)
(5)	適正な個人情報の管理ができている		7	1		9 (1)

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束、虐待は行っていない。
- ・成年後見制度の活用を提案したことがある(現在、成年後見制度を利用している方はいない)。
- ・広報誌など倫理的配慮はされている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・見守りの関係上、他の利用者が聞こえる中でミーティングを行っている。
- ・プライバシーの確保で十分でないと思う(きりはないが)。
- ・成年後見制度そのものが理解できていない。
- ・カーテンでトイレが仕切られている。

### 次回までの具体的な改善計画

- ・引き続き高齢者虐待の研修、啓発活動を行う。
- ・虐待、身体拘束とリスクマネジメントは関連性が高いので、併せて研修を行う必要がある。
- ・職員のストレスマネジメントも引き続き確認していく。

# 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田 理紗
事業所名	高齢者ケアセンター甲南 小規模多機能サービス	管理者	豊田 達簕

法人・ 事業所 の特徴 通い泊り訪問の機能を活用して、通いの場だけでなく自宅で少しでも沢山過ごせるように訪問の回数を多くし、自宅で過ごせる時間を取り戻せるケアを行っている。また、特に一人暮らしや高齢者世帯の利用者には、頻繁に医師との連携を取り、受診時の情報提供や担当者会議、日常的に確認事項は電話やFAXで行っている。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	2 人	2 人	0 人	1 人	1人	0 人	3 人	人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
	今年度より実施の為、今年度は記載	今年度より実施の為、今年度は記載	結果ではなく、事業所自己評価に取	改善計画の頻度や期間について、
	なし	なし	り組んだ経過(姿勢)に対して事業	来年度の事業所自己評価を行う時
			所や職員がそのように感じたかを	には『いつ・どのようにするの
			確認される。	か』まで記載していく。今年度に
A. 事業所自己評価の				ついては期間や頻度を定め行って
確認				行く。
中医中心				・「32 時間以上の職員」という基準
				通りに実施したが、次年度は32時
				間未満の職員であっても、実施でき
				るように職員への周知や依頼を行
				って行く。
	今年度より実施の為、今年度は記載	今年度より実施の為、今年度は記載	面会簿の記入が小規模多機能の場	事務所が不在時の連絡方法などど
	なし	なし	合は必要なのか、また、事務所に誰	こに連絡すればよいのかわかりや
B. 事業所のしつら			もおられない時にどうすればよい	すい表示を作る。
え・環境			のかわからない。	・入りやすいが誰でも入れる。誰が
, a skya				来たかも確認できない。と言う事は
				防犯上課題となるので、防犯カメラ
				の設置を検討する。
	今年度より実施の為、今年度は記載	今年度より実施の為、今年度は記載	・高齢者ケアセンター甲南にどの	・すでに地域の方々に広報できる
	なし	なし	ようなサービスがあるのか知らな	よう掲示板を設置しました。ま
			い。立派な建物でお金が無いと入れ	た、地域の方々にも使用していた
			ない施設という感じである。特養や	だけるように取り組みたい。
C. 事業所と地域の			小規模多機能がある事すら知らな	・掲示板を通じて、事業内容を掲
かかわり			い方もいるのではないか。	示し広報できるようにする。
			・ホームページの更新が少ないの	・地域に出向いての認知症啓発事
			ではないか。	業を積極的に行って行く(年2回程
			・もっと広報活動をされた方がよ	度)。
			いのではないか。	

<ul><li>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</li></ul>	今年度より実施の為、今年度は記載なし	今年度より実施の為、今年度は記載なし	・具体的に地域の会議とは、本山第 三小学校区の地域の会議に出席している事を伝える。本人度から実施の地域ケア会議(事例検討会議)にも出席している事を説明する。 ・職員のほとんどが地域との会議などに参加している事を知らないという事に疑問を感じる。 ・運営推進会議への家族参加を促すような取り組みを考えて頂きたい。	・地域への会議への参加の都度、 職員に伝えるようにする。 ・地域ケア会議を通じて、困って いる方への提案を行って行く。 ・今後も、月1回程度は地域との 交流行事を行って行く。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	今年度より実施の為、今年度は記載なし	今年度より実施の為、今年度は記載なし なし	・事例検討については、6月の運営推進会議の中でもお伝えしたように今年度1回は実施したいと報告している。 ・事業所の報告事項(事務的な内容)が多いので、地域の課題や事例などに焦点を絞った運営をされてはどうか。 ・民生委員を行っていても情報が無く、困っている事を掴みにくい。地域から情報を掴みにくい。	・年度に1回は事例検討を行っていく。 ・運営推進会議が地域ケア会議のようになれば良いと考えているので、地域包括支援センターと協力して開催できるようにする。
F. 事業所の 防災・災害対策	今年度より実施の為、今年度は記載なし	今年度より実施の為、今年度は記載なし	・地域の防災訓練が本山第三小学校で開催されており参加している。 ・火災時の避難誘導方法はどのようになっているのかと質問があり、基本的に火の元から遠いバルコニーへ避難することになっている。 →ベランダやバルコニーは片付いているのかとの質問に、防火管理者の渡邊より、定期的に確認に行き、障害となるものが置いてあれば、移動するよう指示をしている。と答える。 ・防災(土砂災害)などのマニュアルも準備できている事を報告する。	・これまで火災を想定した防災訓練のみの実施であったため、土砂災害を想定した防災訓練を実施する。